

備える 3.11から

第86回 津波 どう逃げる？

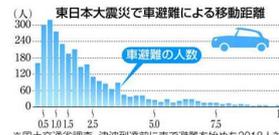
半数以上が車で避難

東日本大震災では、被災者の半数以上が車を使って避難していた。津波から避難する際は「徒歩」よりも「車」を使った方が安全と指摘する。車を使って逃げ、避難場所まで行く。避難のあり方を考える。

「見て見ぬふり？」

全去場所まで逃げ、車だといけなくても24%以上は、津波避難の実態を調査した。津波避難の実態を調査した。津波避難の実態を調査した。津波避難の実態を調査した。

国土交通省は青森から千葉県まで、被災者約10万人に、津波避難の実態を調査した。津波避難の実態を調査した。津波避難の実態を調査した。津波避難の実態を調査した。

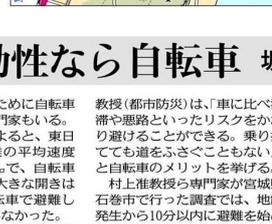


「速く走り歩け」 一人一人が、車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。

Table with 2 columns: Evacuation Method, Average Speed, Average Distance. Car: 9.42 km/h, 423m. On foot: 6.19 km/h, 1550m. Bicycle: 2.24 km/h, 2493m.

「速く走り歩け」 一人一人が、車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。

「速く走り歩け」 一人一人が、車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。



「徒歩」だけでは限界

東洋大関谷直也准教授(災害社会学)



東日本大震災で国土交通省の津波避難調査にかかわった東洋大社会学部の関谷直也准教授(災害社会学)に、車避難のあり方を聞いた。

「備える」は毎月第1、第3月曜日掲載です。次回は17日です。

被災6県調査「移動1キロ以内」35%



東日本大震災の強い余震が起きた避難する車道。2011年4月8日、仙台市宮城野区で撮影。

機動性なら自転車 坂道や雪には弱さ

津波から逃げるために自転車は有効性を説く専門家もいる。国土交通省の調査によると、東日本大震災での避難の平均速度は、車が時速9.4キロ、自転車が同6.2キロ。両者に大きな開きはない。ただし、自転車で避難した人は0.9%しかいなかった。

「速く走り歩け」 一人一人が、車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。車を使わずに逃げなければならない。

徒歩避難の平均時速は、二四キロ。単純に比較すれば、一方が徒歩より速い。津波を見るときは、避難場所まで行く。避難のあり方を考える。

「備える」は毎月第1、第3月曜日掲載です。次回は17日です。